

医学研究に関する情報公開および研究協力へのお願い

福井県済生会病院放射線技術部では、臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学研究を実施しています。こうした研究では、対象となる方に関して既に存在する試料や情報、あるいは今後の情報や記録などを調査しますが、対象となる方にとって新たな負担や制限が加わることは一切ありません。このような研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。ご自身の情報や試料を研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」へご照会ください。研究への参加を希望されない場合、研究結果の公表前であれば、研究期間内にご連絡いただいた時点より対象から除外いたします。なお研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

【研究課題名】反復性再発深部静脈血栓症の特徴的な超音波像の検討

【研究期間】福井県済生会病院 臨床研究審査委員会承認日～2022年3月31日

【研究の目的】下肢静脈超音波検査において、充満した低輝度エコー血栓と器質化血栓が混在する像を経験する。残存した器質化血栓が血栓化を惹起し周囲に新鮮血栓を形成する反復性再発深部静脈血栓症と考えられる。しかし、反復性再発 DVT の特徴的な超音波像を示す報告はない。反復性再発深部静脈血栓症の超音波的特徴を明らかにし、リスク因子を分析する。

【研究の内容】

1. 研究の対象となる方 2016年1月～2020年12月までに当院で下肢静脈超音波検査と胸腹部～下肢静脈造影 CT を施行し、反復性再発深部静脈血栓症と診断された症例

2. 研究に用いる試料・情報

カルテ番号、生年月日、診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液データ、超音波、CT）

3. 研究の方法

受診者の背景因子と下肢造影CTを同時期に施行した例の画像を比較し特徴的な超音波像を検討する。反復性再発DVTは(1)管腔内に充満した血栓像、(2)圧迫法で血栓像が圧縮されない、(3)低輝度エコー血栓内の中心部及び血管壁に高輝度もしくは石灰化した索状血栓もしくは点状の血栓伴う(モザイク像)、以上の3つの所見から診断する。受診者の背景因子から反復性再発血栓群、それ以外の血栓群、コントロール群を比較しリスク要因を明らかにする。

【共同研究機関及び研究責任者】

1. 研究代表施設および研究統括者

福井県済生会病院 放射線技術部 坪内 啓正

【当院における研究責任者】

福井県済生会病院 放射線技術部課長 坪内 啓正

【本研究に関する問い合わせ窓口】

○問い合わせ窓口

〒918-8503

福井県福井市和田中町舟橋 7-1 福井県済生会病院 放射線技術部 坪内 啓正

電話：0776-23-1111（代表）